

【プレスリリース】

2023年6月1日

あんしんプレミアムサービス「げんきです」発信により、 高齢化人口減少が進む北海道福島町で、孤独死予防の取り組み開始。

地域での高齢者見守りの仕組みづくりを支援する NPO 法人コミュニティ・コーディネーターズ・タンク(代表理事:小山淳子 以下、CoCoT と表記)は、このたび、北海道福島町において、あんしんプレミアムサービス「げんきです」の提供を開始しましたのでお知らせいたします。

高齢者の孤立が社会問題となるなか、多くの地域では日常的な見守りが課題となっています。これを解決するものとして、見守り対象者の状態を通知するさまざまな製品やサービスがありますが、より高い頻度での接触や地域活動への参加を促すための仕組みが求められていました。コロナ後の孤立孤独が顕著な社会では、高齢者の自助努力とその家族だけで高齢者の暮らしを支えていくには、限界が見えています。地域や専門機関とのつながりを作り、住んでいる地域全体で高齢者を見守っていく仕組みづくりは急務と言えます。一方で、見守りを引き受ける医療介護などの福祉関連団体にとっては、精神的負担や労力は大きな課題となります。

北海道福島町では、高齢化率は、2020年の国勢調査では、65歳以上の高齢者が48.80%。将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所 2018年3月推計)では、2030年には、53パーセントを超えると推定されています。

人口は、2030年には、2,592人まで減少すると想定されています。さらに、医師2名の地域医療体制など様々な課題から、少子高齢化、人口減少の影響が大きい地域です。

そのような背景と地域課題の中で、北海道福島町社会福祉協議会では、住民相互の繋がり的高めあい、生活課題を受け止めていく体制づくりと地域福祉活動の取り組みとして、5月2日より、見守り電話の事業にあんしんプレミアムサービス「げんきです」の活用を開始しました。

<概要・仕組み>

あんしんプレミアムサービス「げんきです」は、このようなニーズに対応するための仕組みとして、2022年10月に千葉県松戸市でスタートしました。サービスに加入した見守り対象者には週1回の頻度で自動的に架電がされ、応答の状況に合わせた見守り対応をします。元気な方は1番、連絡が欲しいと9番を押します。9番を押した方は、一両日中に、見守りステーションから状況の尋ねる折り返し電話があり相談を受けることができます。二日続けて応答がない場合は、あらかじめご利用様が指定したご近所見守り(見守りボランティア)や緊急連絡先に報告メールが行き、見守りステーションは公的機関や福祉専門職、住民団体と連携対応します。

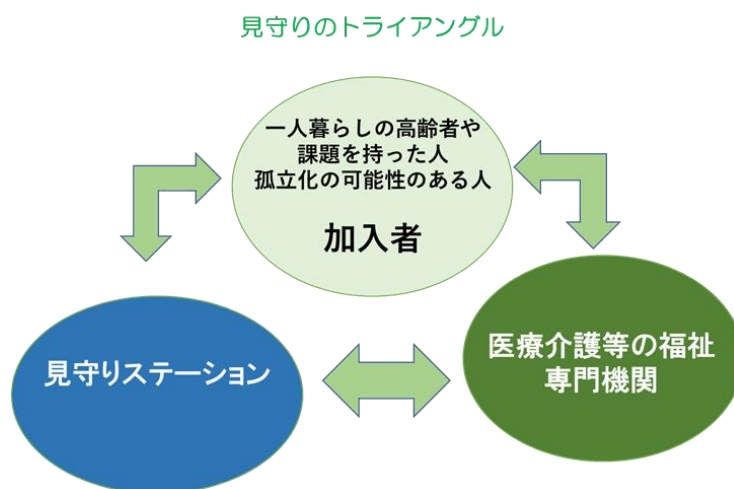


図1 あんしんプレミアムサービス「げんきです」が構築する見守りの体制

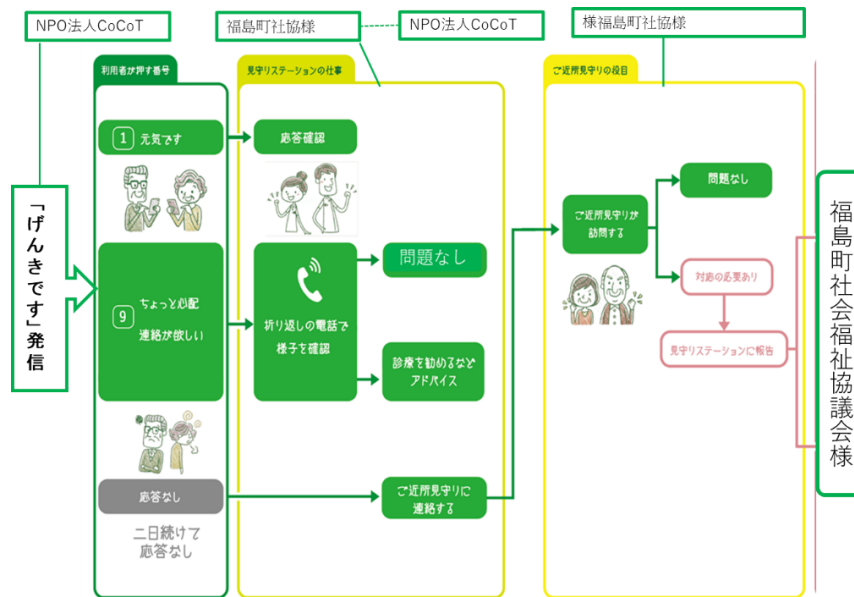


図2 対応連携のフロー図(福島町社会福祉協議会様の場合)

同サービスを導入することにより、福祉関連の専門機関にとっては、メールで支援団体と状況を共有でき、対処の役割分担により、見守りにかかわる労力と精神的な負担を軽減し、地域のステークホルダーとつながりを作っていくことができます。

一人暮らし高齢者の方は、現在お使いの電話番号を登録するだけで、機器設置や工事の負担なく、手軽に見守りが始められます。ご自分で、万一の時の連絡先を指定し、地域と緩やかにつながっていくことができます。

また、経費を極力抑えて、老後の生活の負担にならないNPOの強みを活かした料金設定となっています。

	げんきです	電力データタイプ	駆け付けタイプA社	センサータイプB社
初期費用	2200円	0円	約50,000円	約20,000円
月額費用	固定電話715円 携帯電話825円	550円	約5,000円	約2,000円
機器設置	不要	不要	要	要
相談対応	あり	なし	なし	なし
緊急対応	対応可能	名古屋市内のみ	対応可能	対応可能

図3. 類似サービス 比較表

CoCoTは、このあんしんプレミアムサービス「げんきです」を、福祉医療関連団体と中心に広く紹介し、自治体などに提案して行きます。

●あんしんプレミアムサービス「げんきです」の詳細

<http://npo-cocot.com/genkidesu/>

●システムの詳細

<https://biztel.jp/case/bp/11184/>

●導入のご相談は 地域活性化支援センター(NPO法人CoCoT運営)

Mail: center@npo-cocot.org TEL:047-711-7445